

授業科目名 <英訳>	中国語学中国文学(特殊講義) Chinese Language and Literature (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 池田 巧				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	木1	授業形態	特殊講義
題目	中古音と唐代音 [ 1 ]								
【授業の概要・目的】									
<p>隋代に編纂された韻書《切韻》は押韻可能なグループに分けて字を集めた規範的な発音辞典である。中国の伝統的な学問と西洋の比較言語学の方法により《切韻》に記録された当時の発音が、理論的に復元されている。本講義では、中古音復元のための資料と方法を紹介しつつ、中国語音韻史の基礎的な知識と言語史研究の成果を学び、これまでに何がどこまで明らかにされて来たのかについて理解を深める。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>テーマは順不同、ひとつのトピックについて2～3回の授業を予定しているが、内容によっては回数に増減が生じる可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．授業の方針と計画について</li> <li>2．中国語音韻史研究の基礎資料</li> <li>3．《切韻》と《廣韻》</li> <li>4．反切と音類</li> <li>5．音価推定の方法</li> <li>6．現代諸方言との対応</li> <li>7．声調の歴史</li> </ol>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
平常点評価：授業への取り組みと小レポート									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
<p>(参考書)</p> <p>大島正二 『中国語の歴史』 (大修館書店) ISBN:978-4-469-23314-8</p>									
【その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)】									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									